

科目名

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C 様々な材料の特徴や用具の取り扱いの方法を理解できる。	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	これまでに習得した造形の基礎技能を生かし、活動の目的にあった造形教材を製作できる。(C-2)	これまでに習得した造形の基礎技能を生かし、活動の目的にあった造形教材を多数製作できる。	これまでに習得した造形の基礎技能を生かし、活動の目的にあった造形教材を複数製作できる。	これまでに習得した造形の基礎技能を生かし、活動の目的にあった造形教材を製作できる。	これまでに習得した造形の基礎技能を生かし、活動の目的にあった造形教材を最低限製作できる。	これまでに習得した造形の基礎技能を生かし、活動の目的にあった造形教材を製作できない。
2	造形活動の中の様々な状況を想定し、適切な援助ができる力を習得している。(C-2)	造形活動の中の様々な状況を想定し、適切な援助ができる力を多数習得している。	造形活動の中の様々な状況を想定し、適切な援助ができる力を複数習得している。	造形活動の中の様々な状況を想定し、適切な援助ができる力を習得している。	造形活動の中の様々な状況を想定し、適切な援助ができる力を最低限習得している。	造形活動の中の様々な状況を想定し、適切な援助ができる力を習得していない。
3	子どもたちの造形活動や造形作品の見方、評価の方法を習得している。(C-2)	子どもたちの造形活動や造形作品の見方、評価の方法を多数習得している。	子どもたちの造形活動や造形作品の見方、評価の方法を複数習得している。	子どもたちの造形活動や造形作品の見方、評価の方法を習得している	子どもたちの造形活動や造形作品の見方、評価の方法を最低限習得している。	子どもたちの造形活動や造形作品の見方、評価の方法を習得していない。

評価方法			
意見交換内 容10%	成果発表内 容 1 30%	成果発表内 容 2 30%	指導案30%
			○
	○	○	
○	○	○	